



## ワイス

### 顧客情報

研究開発を重視する世界最大の医薬品メーカーの一つ。2007年度の同社の研究開発費は32億ドルを超える。

### 業種 医療

### IT 環境

世界各地で54,000台を超えるデスクトップを使用。その25%でWindows 2000が稼働している。4台のデスクトップにePOサーバを導入し、30のファイルリポジトリを用意。140台のZenサーバに560のNetwork Application Launcher (NAL) オブジェクトが存在。

### 課題

54,000台を超えるデスクトップに信頼性の高いセキュリティ対策を実装する。

### マカフィーのソリューション

- McAfee Total Protection (ToPS) for Endpoint
- McAfee ePolicy Orchestrator (ePO)
- McAfee VirusScan Enterprise for Linux
- Resident Onsite Support Account Manager

### 導入結果

- 54,000以上のデスクトップに包括的なスパイウェア対策とウイルス対策を導入
- スケジュールレポートとアドホックレポートを簡単に作成し、ITとセキュリティ管理の負荷を軽減
- 毎日数百万のファイルをレジストリキーをスキャン
- バッファオーバーフロー攻撃を阻止

## マカフィーのソリューションでグローバル IT 環境を様々な脅威から保護

米ニュージャージー州マディソンに拠点を置くワイスは世界最大の医薬品メーカーの一つです。世界で最も重要な医学的な課題を解決するため、研究開発に莫大な投資を行っています。

グローバル企業であるワイスは蔓延するセキュリティ脅威に直面しています。同社では毎日、6,600万個以上のファイルと1億個のレジストリキーをスキャンしています。昨年は、マカフィーの技術を利用して200万以上のマルウェア感染と16,000種類のマルウェアを検出しました。

### 常に警戒が必要

ワイスでは、社内ネットワークと境界を保護するセキュリティソリューションを導入していますが、デスクトップの保護対策としてはMcAfee VirusScan® Enterpriseのみを使用しています。同社のITセキュリティチームは1か月に数回、ファイアウォールのログとマルウェアのレポートを分析し、ワーム、ウイルス、スパイウェアなどの感染が疑われるデスクトップとノートPCを特定しています。多くの場合、このような振る舞いは感染デバイスの実行ファイルに見られます。アウトブレイクに対して計画的な回避策を講じるには、マカフィーのツールが最適です。

ワイス社のグローバルクライアントコンピューティング担当役員のEd Carroll氏は次のように述べています。「多くの場合、マカフィーのソフトウェアがマルウェアを検出して駆除します。日々の保護対策はユーザーの生産性を妨げることなく実行されています。時々、マカフィーに、新種のマルウェアの疑いのあるファイルを送信して、シグネチャファイルの更新を受け取り、会社全体のデスクトップの感染を防いでいます。」

バッファオーバーフロー攻撃も頻繁に発生します。バッファオーバーフローが発生すると、不正なコードが管理者権限で実行され、サーバに対して不正な操作を実行します。

ワイス社のITセキュリティコンサルタントであるGreg Stewart氏は「このような攻撃は簡単に実行できます。このような攻撃を阻止するためにVirusScan Enterpriseを選択しました。この製品の簡易ファイアウォール、ルートキットスキャナ、電子メールスキャナなどの機能は非常に有効です」と述べています。

### ePO: 大規模で複雑なITシステムを管理

ワイス社は、McAfee ePolicy Orchestrator® (ePO™) を使用して、ePOサーバで管理されたサーバの状態を定期的または随時確認しています。プロジェクトマネージャは、デスクトップ環境の状況を定期的に更新し、アップグレードを行います。ePOのレポートでは、アウトブレイク時の感染範囲や拡散状況に関する重要な情報を確認できます。ITセキュリティチームは、新たな攻撃が発生したときに、アドホックレポートで脆弱性の評価をすぐに行うことができます。

「ePOにより、配備や管理、監視に必要な時間が少なくなりました。4.0にアップグレードしたので、管理、製造、研究、営業などの部門ごとにポリシーを設定し、クライアントコンピュータを管理できます。この操作は1台のサーバーで実行可能です」とCarroll氏は述べています。

Carroll氏によると、この機能は、同社のグローバルサーバー統合の目的に合致していました。アップグレードにより、クライアントソフトウェアは必要なく、ブラウザベースのコンソールを使用できるのでレポート機能の委譲も簡単になりました。

「ワイス社で数年前からマカフィー製品を使用しているユーザーに話を聞きました。彼らはこれまでにウイルスのアウトブレイクを経験したことがありません。これはマカフィー製品のおかげで、我が社が特別なことをしたわけではありません」とCarroll氏は述べています。

### Resident Onsite Support Account Manager

ワイス社は年間で200億以上の利益を上げ、多くの領域でePO、Total Protection (ToPS) for Endpoint、VirusScan® Enterprise for Linuxなどのマカフィーのソリューションを導入し、世界各地で54,000以上のノードを保護しています。同社では最近、セキュリティ対策を強化するため3年半のMcAfee Resident Onsite Support Account Managerを契約しました。

Resident Onsite Support Account Manager (SAM)はワイス社専任のセキュリティ担当者であり、同社におけるマカフィー製品の配備とサポートに精通しています。Resident Onsite SAMは、スタッフ会議や企画会議に参加し、重要な提案を行います。SAMは、会社の方針や計画をよく理解した上で、製品サポートや支援、運用上のアドバイス、マカフィー側との調整などを行います。

社内に常駐しているので、SAMは問題をすぐに発見し、迅速に対応することができます。

管理しやすいマカフィーのソリューションにより、ワイス社ではセキュリティ担当者を雇用する必要がなくなり、その費用でResident Onsite Support Account Managerの契約が可能になりました。

---

多くの場合、マカフィーのソフトウェアがマルウェアを検出して駆除します。

ワイス社  
グローバルクライアントコンピューティング担当役員  
Ed Carroll

---



マカフィー株式会社  
www.mcafee.com/jp

東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1  
渋谷マークシティウエスト20F  
TEL 03-5428-1100 (代) FAX 03-5428-1480  
名古屋営業所 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-20-17  
中外東京海上ビルディング3F  
TEL 052-954-9551 (代) FAX 052-954-9552  
西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-2-2  
近鉄堂島ビル18F  
TEL 06-6344-1511 (代) FAX 06-6344-1517  
福岡営業所 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5-3-8  
アクア博多5F  
TEL 092-287-9674 (代) FAX 092-287-9675

McAfee またはその他の商標は米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。McAfee ブランドの製品は赤を基調としています。本書中のその他の登録商標および商標はそれぞれその所有者に帰属します。

© 2011 McAfee, Inc. All rights reserved.

5090cs\_wyeth\_0309